

## 国語問題

【11月11日実施】

① 次の文章は、資料A・資料Bを基に書かれたものである。それぞれの文章を読み、後の設問に答えよ。

ある友人から、次のような質問を受けた。あなたは、人から「オレンジジュースを買ってきて」と頼まれたら、何を買ってくるのかという内容であった。オレンジジュースを頼まれて、アップルジュースを買うという、<sup>a</sup> [A]をきかせるスベがあるかと思っていると、その質問のイトは<sup>b</sup> こうであった。それは、同じオレンジジュースでも、無果汁か百パーセント果汁か、話し手と [B]の価値観によって違うだろうということであった。細かな指摘であると、いささか思ったが、それが人の価値観なのであるといわれたら返す言葉がなかった。同じ「オレンジジュース」でも、果汁の割合や値段、飲料メーカーなどで違いがある。「これがオレンジジュースだ」というものにも人によって違いがあるのである。

① それを言語に広げた場合、各国の文化、価値観と密接なつながりを持つことが分かる。同じ「リンゴ」でも、日本人の「リンゴ」の色とフランス人のその色は違うらしい。<sup>②</sup> 私たち日本人は、幼少期から「リンゴ」の絵を塗るように指示されたら、真っ赤な絵の具をつかっていたのではないだろうか。

しかし、同じ色を出すにしても、様々な色が重なり合って、混ざり合って、色となすことを忘れてはならない。紫色を表現する際、パレット上に赤と青を出し、紫の絵の具のチューブとは色合いが異なるが、それもまさしく紫色であった感動を味わったこと。これぞ、まさしく「自分の色」であるという感動を。この感動が、異なる母国語を話すものたちのコミュニケーションにおいても必要なものではないだろうか。

言語文化の異なる者達が集まるとき、自分の価値観・言語文化のみを押し付けるのではなく、それぞれの価値観・言語文化を、よく見て、少しずつ出し合って、混ぜ合って、表現したかった「言葉」を共有することが必要であると考えよう。

### 〈資料A〉

リンゴと聞いて、日本人はどんな色を連想するだろうか。ほとんどの人は、赤い色を思い浮かべると思う。もちろん実物としてのリンゴならば、日本でも赤とは限らない。黄色のものもあるし、熟しても緑色のままという品種も、少しは見かける。しかし、一般論としてリンゴを考えると赤であろう。

テレビの連想ゲームなどで、赤と言えば<sup>c</sup> ソクザにリンゴとくる。幼児に向かってリンゴの絵を描いてもらんと言え、赤いクレヨンを取って丸く描く。このように、日本では、バナナが黄色と決まっているように、リンゴも言語文化上は赤と決まっているのである。つまり、日本人にとってリンゴは、赤いものの代表の一つだといえる。

ところが、リンゴといえば赤ではなく、緑と決まっている国があるのだ。その代表はフランスである。フ

フランスにも日本と同じく、果物としてのリンゴには赤も黄もあるのに、ただ *pomme* (リンゴ) といえは、その色として緑を考えるのである。

子供の絵本や教科書などでも、リンゴの絵はほとんど緑色に描かれている。フランスで赤い果物の代表はさくらんぼ (*cerise*) であって、リンゴではない。ただしフランス人がリンゴは緑だというときの緑は、日本語で普通にいう緑よりは色が薄く、シキサイとしてリンゴ緑という名称で知られ、日常生活によく使われる。

日本語には (リンゴ緑) のようなシキサイ名はなく、したがって色自体も、あまり使われることがないようである。

何年も前、会食にマネ<sup>d</sup>かれた英国人のW氏と、米国人のR氏と話をしながら、リンゴの色の話題を持ち出してみた。

するとW氏はソクザに *green* だと言われたが、R氏は怪訝な顔をして、*red* でしょうと **C** されたのである。

その後、私はキカイ<sup>e</sup>あるごとに、いろいろな英語を **D** とする人に、この質問を向けてみた結果、英語では人により **E** にわかれるらしいという結論を得ている。もともと英語という言葉は、広大な域に分布しているので、地方差があったり、文化伝統が違ったりするため、同一の言語現象に対する解釈が必ずしも同じでないことがよくあるのである。

【『日本語と外国語』鈴木孝明】

#### 〈資料B〉

全員が色とりどりの野菜や果物を机の上に並べたところで、太田はこう質問する。

「りんごは何色？」 「赤！」

得意になって、子どもたちは元気いっばいに返事をする。

「レモンは？」 「レモン色！」

「きゅうりは？」 「みどり！」

そして、太田は子どもたちの目をじっと見て、一言だけ質問する。

「ほんと？」

子どもたちは一瞬ハツとする。

体に染みついた「りんごは赤」という先入観。生徒たちはまだ固定観念から完全に自由になっていない。

りんごの色が赤ではなく、黄色やみどりをはじめとして多彩な色が混ざりあっていることは、「りんごは赤」という先入観をとりはらって、はじめて見えてくるものだ。

ある生徒は、たまねぎについて「形は丸くて、色はうすい黄土色」だと思っていたが、制作をしながら「どんな形なんだろう」「どんな色なんだろう」と何度も何度もよく見ているうちに「ただ丸いだけじゃない、細かいすじが入っている」「とても不思議な色」に見えてきた、という。

美術では絵や立体で、自分のイメージ、考えを表現していく。

「イメージの世界では、自分の悲しみや喜びを表現するシキサイは何？ということが重要になってくる。そのためには大自然のシキサイを知ることが必要になってくるわけ。それを知らないと、自分のイメージの世界がものすごく甘いものになってしまうのよ。本当に自分の心を色や形に託すのであれば、りんごは『赤』なんて単純な色<sup>③</sup>では、とても表現できない。りんごで自分の心を表現するとしても、絵の具から出した赤のままでは、その子の気持ちは表現できないはずよ。どんなに、そっくりに作ろうと思っても、本物以上には作れない。自然って、なんてすごいんだろう、俺たちがコントロールなんてできないんだ！そういう考えに気がついていくの。そのためにもよく観察させなきゃいけないのよ」

太田は、生徒たちにそんな言葉を投げかける。

『りんごは赤じゃない』山本美芽

問一 傍線 a～f に適切な漢字を選択肢より選び、番号で答えよ。

- |   |       |     |       |      |      |      |      |
|---|-------|-----|-------|------|------|------|------|
| a | スベ    | 【1】 | 1 総   | 2 術  | 3 全  | 4 滑  | 5 技  |
| b | イト    | 【2】 | 1 糸   | 2 維人 | 3 意図 | 4 意吐 | 5 異図 |
| c | ソクザ   | 【3】 | 1 即座  | 2 促座 | 3 側座 | 4 速座 | 5 則座 |
| d | マネかれた | 【4】 | 1 招   | 2 待  | 3 紹  | 4 召  | 5 遍  |
| e | キカイ   | 【5】 | 1 機械  | 2 器械 | 3 奇怪 | 4 機会 | 5 期会 |
| f | シキサイ  | 【6】 | 1 四季彩 | 2 識彩 | 3 織彩 | 4 色彩 | 5 色菜 |

問二 空欄 A～E にふさわしい語を次より選び、番号で答えよ。

- |   |        |   |     |   |     |   |     |
|---|--------|---|-----|---|-----|---|-----|
| 1 | 嘘      | 2 | とんち | 3 | 外国語 | 4 | 赤と緑 |
| 5 | 聞き手    | 6 | 反論  | 7 | 賛成  | 8 | 母国語 |
| 9 | 赤とリンゴ緑 |   |     |   |     |   |     |

A 【7】  
E 【11】

問三 傍線①について適切なものを選び、番号で答えよ。

- |   |                               |
|---|-------------------------------|
| 1 | フランス人の一般論としてのレモンの色は、リンゴ緑色である。 |
| 2 | フランス人の一般論としてのリンゴの色は、赤色である。    |

- 3 フランス人の一般論としてのリンゴの色は、人により赤色と緑色にわかれる。
- 4 フランス人の一般論としてのリンゴの色は、緑色である。

問四 傍線②のようなことが起こる原因について、最も適切なものを選び番号で答えよ。

【13】

- 1 資料Aから分かるように、テレビの連想ゲームで豊かな発想力を得ているから。
- 2 資料Aの「リンゴの絵はほとんど緑色に描かれている」から分かるように、価値観の違いについて認識しているから。
- 3 資料Bから分かるように、体に染みついた先入観があるから。
- 4 資料Bから分かるように、地方差があったり、伝統が異なったりするから。

問五 傍線③の「単純な色」とはどんな色か、次の具体例として挙げられた中から、最も適したものを一つ選び、番号で答えよ。

【14】

- 1 赤と青を混ぜてできた紫色
- 2 いろいろな色を重ねてできた黄土色
- 3 黄色やみどりなど多彩な色を重ねてできた赤色
- 4 レモンを塗るため絵の具のチューブから出した黄色

問六 本文や資料A・資料Bの内容に最も適しているものを番号で答えよ。

【15】

- 1 子どもたちは先入観にとらわれて、一生、多彩な色で絵を描くことができない。
- 2 同じ言葉でも、その解釈は、地方差や文化伝統が違うため同一とは限らない。
- 3 子どもたちには、先入観を取り払うため、大人が色の作り方を教えねばならない。
- 4 言語文化が違う場合、自分たちの解釈を押し通していかねばならない。

問七 次の空欄①～⑤にはふさわしい漢字を、a～eには該当する意味を選び、それぞれ番号で答えよ。

- |   |        |     |   |      |   |      |
|---|--------|-----|---|------|---|------|
| A | ① 象無象  | (a) | ① | 【16】 | a | 【17】 |
| B | 海 ② 山千 | (b) | ② | 【18】 | b | 【19】 |
| C | 温 ③ 知新 | (c) | ③ | 【20】 | c | 【21】 |
| D | ④ 理空論  | (d) | ④ | 【22】 | d | 【23】 |
| E | 厚 ⑤ 無知 | (e) | ⑤ | 【24】 | e | 【25】 |

〈漢字〉

- |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 百 | 2 | 有 | 3 | 千 | 4 | 眼 | 5 | 顔 | 6 | 古 | 7 | 故 | 8 | 空 | 9 | 地 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

〈意味〉

- |   |                           |   |                      |
|---|---------------------------|---|----------------------|
| 1 | 古いことを研究し、新しいことを知ること       | 2 | あつという間に、あとかたもなく消えること |
| 3 | 美しい自然の情景のこと               | 4 | 世の中にくらでもあるもの         |
| 5 | あつかましく、恥知らずなこと            | 6 | 世の中の裏も表も知っている人       |
| 7 | よきを勧め、悪きをこらしめること          | 8 | 現実とかけ離れた議論           |
| 9 | 器用なために、一つのことに専念できず大成しないこと |   |                      |

三 次の空欄①～⑥には結びつく動詞を、a～fには該当する意味を選び、それぞれ答えよ。

- A 一人でできると見得を ① (a) ①【26】 a ②【27】
- B 非難に備えて予防線を ② (b) ②【28】 b ③【29】
- C 自分の企画を通そうと意地に ③ (c) ③【30】 c ④【31】
- D たっぷりと油を ④ (d) ④【32】 d ⑤【33】
- E 後続の選手に大きく水を ⑤ (e) ⑤【34】 e ⑥【35】
- F 弟子入りしようと師匠の門を ⑥ (f) ⑥【36】 f ⑦【37】

〈動詞〉

- 6 1 絞る 2 注ぐ 3 張る 4 切る 5 なる  
破る 7 叩く 8 壊す 9 あける

〈意味〉

- 1 物事が順調に進むこと  
2 競争相手に対して差をつけること  
3 前もって手を打つこと  
4 世間の注目を浴びること  
5 自信のありそうな様子を言動に表すこと  
6 人をひどくしかること  
7 自分の意見や主張を押し通そうとすること  
8 教えを求めて訪ねること  
9 余計に騒動をおこさせること

四 次のA～Eの波線部を敬語に言いかえる場合、適切なものを、番号を選び答えよ。

- A 【38】「この問題について先生に、教えていただきたいと思い、来<sup>マ</sup>ました。」  
1 お訪ねになり 2 参られ 3 お伺いし
- B 【39】「熊本城を多くの方々に<sup>ミ</sup>てもらい、歴史を感じてほしい。」  
1 拝見してもらい 2 見られていただき 3 ご覧になっていただき
- C 【40】「私たちは、もっと政治について勉強を<sup>シ</sup>なさるべきですね。」  
1 する 2 される 3 参る
- D 【41】「こちらにお名前とご住所を<sup>テ</sup>いただけませんか。」  
1 書いてください 2 お書きしていただけ 3 お書きいただけ
- E 【42】「この荷物を、五時には<sup>ケ</sup>届けることができます。」  
1 お届けになれます 2 お届けできます 3 届けられます

〔五〕 次の作品の作者を番号で答えよ。

A 〔43〕 父の詫び状  
D 〔46〕 私の個人主義  
G 〔49〕 富嶽百景  
B 〔44〕 二十四の瞳  
E 〔47〕 放浪記  
H 〔50〕 新しき村の生活  
C 〔45〕 蛍川  
F 〔48〕 キッチン

〈作者名〉

1 宮本輝  
2 夏目漱石  
3 壺井栄  
4 太宰治  
5 向田邦子  
6 吉本ばなな  
7 武者小路実篤  
8 林芙美子